

記者発表資料

国土交通省 高崎河川国道事務所
群馬県
東日本高速道路株式会社5事務所
群馬県内35市町村
公益財団法人群馬県建設技術センター

道路メンテナンス総力戦【第15弾】 自治体職員の直営点検で意識・技術力向上や費用削減 ～「第8回群馬県メンテナンス協議会」の調整結果～

10月25日に開催した第8回群馬県メンテナンス協議会において調整を行い、以下を確認しました。

①点検・修繕の進捗状況

- ・点検実施率や達成率が十分な状況にないため、H29・30の体制強化が必要。
- ・職員点検、点検の質を向上させるための講習会や直轄診断の技術支援等を行っていく。
- ・修繕工事については、点検結果を踏まえた取り組みを進めていく必要がある。

②市町村の取組事例

- ・これまでのメンテナンス協議会や研修・講習会等を受けて、自治体独自で自治体職員向け点検講習会を開催したり、自治体職員による直営点検の実施などを進めている。
- ・点検計画について、H30に一挙に点検予定であったものを、H28に前倒し実施。

③広報体制の充実

- ・道路の老朽化対策の本格実施にあたり、国民の理解・協働の推進の一環として、地域住民や学生等を対象に、道路構造物の老朽化の現状、対策の必要性等について普及啓発に取り組んでいく。

なお、過去の協議会の状況等は高崎河川国道事務所のホームページに掲載されています。
http://www.ktr.mlit.go.jp/takasaki/takasaki_index060.html

記者発表クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 刀水クラブ・テレビ記者会
高崎記者クラブ

問合わせ先

群馬県メンテナンス協議会事務局

国土交通省 関東地方整備局 高崎河川国道事務所

住所：群馬県高崎市栄町6-41 電話：027-345-6000(代) FAX：027-345-6085

副 所 長 永江 浩一郎(ながえ こういちろう) 内線：204

道路構造保全官 今 春彦(こん はるひこ) 内線：208

群馬県 県土整備部 道路管理課

住所：群馬県前橋市大手町一丁目1-1 電話：027-223-1111(代) FAX：027-243-7285

次 長 諸田 貞一(もろだ ていいち) 内線：3592

補 佐 村田 義明(むらた よしあき) 内線：3603

高崎河川国道事務所ホームページ

高崎河川国道

(補足)

①点検・修繕の進捗状況

➤点検の進捗状況

- ・H28末見込みの点検実施率は、橋梁及びトンネル、道路付属物等のいずれも実施率が60%未満にとどまっている。(表-1)
- ・道路付属物等については、当初計画を上回っているものの、施設母数の多い橋梁やトンネルは、達成率は92%、65%と遅れている。(表-2)
- ・点検実施率や達成率が十分な状況にないため、H29・30の体制強化が必要。

表-1 見直し後の実施見込み率

	H28
橋梁	50%
トンネル	44%
道路付属物等	53%

見直し数(累計値) / 施設数

表-2 計画達成率

	H28
橋梁	92%
トンネル	65%
道路付属物等	119%

計画達成率 = 見直し数 / 当初計画数

➤市町村の体制強化を支援

- ・職員点検、点検の質を向上させるための講習会を開催し、体制強化を支援。
- ・市町村には、橋梁形式が単純で橋長の短いものが多いため、このような橋梁の点検講習も検討していく。
- ・診断が困難な症例については、直轄診断等による支援体制も図っていく。

➤修繕の進捗状況

- ・平成26・27年度の判定区分Ⅲの施設について、修繕工事を推進中。
- 今後、道路施設の定期点検結果を踏まえた修繕の取り組みを進めていく必要がある。

道路施設	H28修繕 当初計画数 (A)	H28修繕 実施済数 (B)	H28修繕予定数
橋梁	39	15	43
トンネル	10	10	10
道路付属物等	1	4	4

- ・表中の件数は、平成26、27年度の点検で判定区分がⅢのものを対象としています。
- ・H28修繕実施済数 (B) とは、平成26、27年度の点検で判定区分がⅢ判定のもののうち、平成28年9月末時点で修繕工事に着手もしくは契約済みの件数

(補足)

②市町村の取組事例

➤ 職員点検の取り組み

・これまでのメンテナンス協議会や研修・講習会等を受けて、自治体独自で自治体職員向け点検講習会を開催したり、自治体職員による道路施設の直営点検を実施するなど、各道路管理者の取り組みが進められている。

成 果

- 職員の意識向上
- 職員の技術力向上
- 点検費用の削減 など

課 題

- 点検日数を多く要する。
- 通常業務、橋梁点検業務時期
- 診断結果に不安が残るものがある。
- 取得技術の継承、向上 など



➤ 点検計画見直し

・点検計画についても、点検未了橋梁の点検時期をH30に一挙に点検予定であったものを、道路管理者として、建設後数十年経過する施設の老朽化の現状を早期に把握することを検討し、H28に前倒し点検に見直し。

(補足)

③広報体制の充実

道路の老朽化対策の本格実施にあたり、国民の理解・協働の推進の一環として、地域住民や学生等を対象に、道路構造物の老朽化の現状、対策の必要性等について普及啓発するため、各道路管理者が広報に取り組んでいく。

➤広報実施事例紹介(1) ～群馬大橋 夏休み親子見学会～

道路の老朽化対策の一環として、地域の皆様から親しまれている群馬大橋を対象に、「メンテナンスを行うことにより丈夫で長持ちすることを知ってもらい、“大事に使う”ことの大切さを発信していく」ことを目的として、橋梁の点検作業や補修作業を実際に「見て」「触れて」「学ぶ」ことのできる、見学会を開催

○日時:平成28年8月18日(木) 14:00～16:00

○場所:群馬大橋(国道17号(前橋市紅雲町一丁目))

○対象:群馬大橋周辺在住の児童と保護者のなど
25名(大人12名 子供13名)

○協力:小野里工業(株)、宮下工業(株)、東亜塗装工業(株)

見学会のプログラム

1. 道路ってなんだろう？

- ①道がない生活？
- ②豊かな社会と「道」？
- ③「ほったらかし」の道？

2. 体験してみよう！

[橋の点検体験]

- ①点検車輛の乗車体験
- ②点検体験

[橋の補修体験]

- ③コンクリートの直しかた
- ④鉄の直しかた

3. 道路の大切さを考えてみよう！

- ①道路がとおれなくなると どうなっちゃう？
- ②どうしたらふせげるのかな？



座学



近接目視



鉄筋探査体験



コンクリートの補修体験

夏休み親子見学会 実施状況写真

○参加者からの声

- ・貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。
- ・コンクリート内の鉄筋が腐食膨張し、ひび割れ浮きの原因となるなど、点検とメンテナンスの必要性を知りました。
- ・補修の工事現場で働く方々の苦勞も判り、その技術を誇らしく感じるとともに、裏方的地味な仕事に携わっている方々のお陰で私たちは安心した暮らしが出来ている事も忘れてならない。
- ・子供達も道路の必要性、大切さを感じたことと思います。

(補足)

➤ 広報実施事例紹介(2) ～大学生を対象とした橋梁点検学習会～

土木を専攻している学生を対象に、道路インフラの老朽化の現状や対策の必要性、維持・管理の大切さに気づいてもらうため、橋梁点検講習や実際の橋梁で点検作業が体験できる橋梁点検学習会を開催。

- 日時：平成28年 9月20日(火)
- 対象：前橋工科大学の学生(22名)
- 内容

- (1)点検実習：点検に必要な知識を習得するための講習及び実習
(株)ネクスコ東日本エンジニアリング(高崎市矢中町21-2))
- (2)現場実習：直接現地で点検作業を体験する現場点検学習
(上佐野高架橋(国道17号(高崎市上佐野町))



講習状況



点検実習

○参加者からの声

- ・実際に使われていた橋梁断面の損傷を見ながらの点検が分かりやすかった
- ・人々が害を受ける前に点検補修をしなくてはならない。
- ・年々、老朽化する橋が増えていくことが分かり、これからもっと点検や措置が必要。
- ・効率かつ安全な点検として、ドローンの活用や現場情報をタブレットで共有。
- ・老朽化が増えるとサンプルも増える。近似症例の対策やその評価を共有し、対策の最適化や老朽化部位予測に役立てる。
- ・地域住民の方々に出来る簡単な点検は、日常的にやってもらう体制づくり。
- ・点検措置はこれから必要なものだと感じた。このための技術、知識を学んでいきたい。

ほか